

ソニー

ソニー（本社：東京都品川区大崎2丁目10番1号、代表取締役社長：河野弘氏）はPCからLANケーブル経由でカメラコントロールが可能なカメラコントロールボックス「CCB-WD1」を発売する。

本機は、プレミアムコンパクトRXシリーズの高画質技術を防水、堅牢（注1）な小型ボディに凝縮し、あらゆる場面で多様な視点からの自由な映像表現を実現するサイバーショット「RX0」を用いた複数台撮影の可能性をさらに広げる。また無線LANのアクセスポイント経由で、スマートフォンやタブレットから操作可能（注2）な「RX0」の無線接続台数を拡大するソフトウェアアップデートを提供する。「RX0」は、小型軽量で光軸を合わせやすい上下/左右対称の形状や画像の上下反転機能により、限られたスペースや天井吊りなどで自由度の高い設置が可能。多視点撮影（注3）を実現する有線と無線によるマルチカメラソリューションを提供する。

カメラコントロールボックス「CCB-WD1」を使用した有線ソリューション（注4）では、信頼性の高いカメラコントロールやファイルマネジメント、カメラ同期を実現。カメラコントロール信号を有線LANでIP化することにより、離れた場所に設置した最大100台（注5）の「RX0」を手元にある1台のパソコンでリモートコントロールすることが可能。

多様な視点から自由な映像表現実現 カメラコントロールボックス発売

無線ソリューション（注6）では、高い設置自由度をもつ「RX0」の特長を生かしながら、配線が不要で容易に複数台をコントロールできる。従来、「RX0」で最大5台までの対応であったモバイル機器からの無線マルチカメラコントロールに加え、アクセスポイント経由での接続にも対応することで、最大接続台数を50台（注2）までに拡大する。



多視点撮影やVR撮影、3D映像の撮影、パレットタイム（タイムスライス）撮影（注7）など、複数台のカメラを近接させる撮影にも最適な「RX0」と、有線・無線によるマルチカメラソリューションを組み合わせて、クリエイターをはじめアイデアや意図を映像化したという思いを持ちつらゆる顧客の創造意欲を刺激、新しい映像表現を可能にしている。

型名=カメラコントロールボックス「CCB-WD1」▶発売日=2月16日▶メーカー希望小売価格は7万円＋税（※）受注生産品。受注の予約は1月19日（金）13時より開始した。納期は販売店が確認のこと。

（注1）すべての状況において無破損、無故障、防水を保証するものではない。

（注2）モバイルアプリケーションPlayMemories Mobile ver.6.2へのアップデートと「RX0」の本体ソフトウェアアップデート（共に近日公開予定）が必要。準備が整った状態で案内。最大接続台数は使用されるアクセスポイント、スマートフォンやタブレット、電波環境、設置方法などで異なる。50台まで接続検証済み（同社試験条件による）。

（注3）さまざまな視点（方向）から被写体を撮影すること。

（注4）セキュリティ対策が施されたネットワーク環境でのみ利用可能。

（注5）「RX0」の本体ソフトウェアアップデート（近日公開予定）が必要。準備が整った状態で案内。最大接続台数は使用される機器によって異なる。100台まで接続検証済み（同社試験条件による）。

（注6）セキュリティ対策が施されたWi-Fi接続でのみ利用可能のこと。

（注7）複数台のカメラを並べて、順に連続撮影もしくは同時撮影する手法。

【有線・無線マルチカメラソリューションの主な特長】

◇「CCB-WD1」による信頼性の高いカメラコントロールを実現する有線マルチカメラソリューション ▶小型形状によりコンパクトな構成の設置が可能

カメラコントロールボックス「CCB-WD1」はカメラ本体「RX0」と同サイズの約59.0×40.5×29.8mm（幅×高さ×奥行）の小型形状で、質量は約90g。 「RX0」本体と対して組み合わせる（注8）ことにより、LANケーブル接続による安定したネットワーク環境を生かしたコンパクトな構成による設置が可能となり、映像制作の自由度と効率性が向上。

またカメラコントロールボックスの制御信号をIP化することで離れた場所に設置した最大100台（注5）のカメラを手元にある1台のパソコンで遠隔操作できる。

（注8）「RX0」1台に対して「CCB-WD1」1台の構成となる。

（注5）「RX0」の本体ソフトウェアアップデート（近日公開予定）が必要。最大接続台数は使用される機器によって異なる。100台まで接続検証済み（同社試験条件による）。

【「CCB-WD1」の各種機能】

カメラコントロール=パソコンのWebブラウザ（注9）を使って、カメラのライブビューを離れた場所から確認しながら撮影（静止画/動画/スローモーション映像、注10）や設定変更、電源ON/OFFの操作ができ、複数台の同時操作も可能。

ファイルマネジメント=①設置したカメラには触れず、カメラ内のメモリーカードに保存されたコンテンツをパソコンに取り込める（注11）②ファイル名変更機能により、複数台のカメラから取り込む際に発生しがちなファイル名重複のトラブルも回避。

複数台のカメラ同期=①カメラ同士のフレームタイミングを同期させるビデオシンク機能により、VR撮影やパレットタイム（タイムスライス）撮影（注7）など、複数の映像を繋ぎ合わせるコンテンツ制作の過程で発生する時間軸のズレを軽減②タイムコードを同期するTCシンク機能（注12）により、編集の負担を軽減し効率的な映像制作ができる。またカメラコントロールボックスを用いて自身で撮影設定、撮影方法などを自由にプログラミングできる。

（注8）「RX0」1台に対して「CCB-WD1」1台の構成となる。

（注9）推奨環境=OS:Windows 7/Windows 8.1/Windows 10、Mac OS X 10.11/mac OS 10.12~10.13、Webブラウザ:Google Chrome、Internet Explorer、Safari Web ブラウザからコントロールする際の言語は英語のみとなる。

（注10）音声は記録できない。Class1以上のマイクロSDXCまたはマイクロSDHCメモリーカードが必要。撮影時はフォーカス、露出モード、フォーカスエリア、フレームレート等の撮影設定は固定される。また画質優先設定で240fpsを選択した場合、フルHD相当の画質で記録できる。

（注11）転送できるファイルサイズは、1ファイルあたり最大4GBまで。

（注12）動画記録のMP4とHFR撮影モードでは、タイムコード同期はできない。

◇設置自由度の高い無線マルチカメラソリューションはPlayMemories Mobile（注2）をインストールしたスマートフォンやタブレットからの無線マルチカメラコントロールに加え、アクセスポイント経由での接続にも対応し、操作できる台数を従来最大5台から最大50台（注2）まで拡大する。

また一括電源ON/OFF、リストビュー表示、グルーピング機能など多視点撮影時に便利な機能も追加する。

最新技術 次代を拓く

ヤマハ発動機

「溶接の工程だけに限れば、全体の95%まで自動化が進んでいる。でも、そこから先の5%は職人技の領域だ。彼らは丸1年の育成プログラムで技を磨いてきたが、教育を受ければ誰もがその領域にたどり着けるわけではない。だからこそ強い向上心を持って、不可能を可能にした彼らを称える表彰が欲しかった。そういう意味で、この受賞を心から嬉しく思っている」。

第33回素形材産業技術賞（※）で、経済産業省経済産業局長賞を受賞したヤマハの「二輪車用アルミニウム製燃料タンクの量産化技術開発」。受賞の証である盾と賞状を製造の現場に届けた三井昇氏（同社生産技術部/下写真中央）は、しみじみとこう話した。

「彼らが担う5%の職人仕事は、自動化された95%の溶接工程、もっというと、プレスや塗装の工程にまで及ぶアルミ加工の深い見識に支えられている。彼らの存在なしには成立し得なかった技術という点で、文句なしのMVPである」と続けた。

燃料タンクという大きな山一つ越えてみせたい。バイクの樹脂部品を溶かしたら、残ったのはすべてアルミ部品という時代もそう遠くはないかもしれませんね」と笑う。



アルミは非常に軽い素材だ。鉄と比較するとその質量はおよそ3分の1。車体の軽量化が性能に直結する二輪車では、以前からさまざまな部品にアルミ材が使われてきた。しかし燃料タンクとなると話は少し違ってくる。アルミは伸びが少なく成形の過程でシワや割れが生じやすいため、複雑な形状を持ち、機能面はもちろん外観でも高い品質が求められる燃料タンクの量産は困難とされてきた。

一部海外メーカーの例を除けば、「レーシングマシン用に手づくりされるスペシャルパーツ」というのが、これまでのアルミ製燃料タンクの位置づけだった。

2015年に発売したヤマハモーターサイクルのフラッグシップ「YZF-R1」（1000cc）は、前モデルと比較して約10%もの軽量化に成功。それを実現させたさまざまな先進技術の一つに、アルミ燃料タン

クの量産化技術の確立があった。ハンドメイドでは「1日の生産は5個が限界」とされてきたアルミタンクを、「YZF-R1」では日産100個、製造コストについてもハンドメイドの約7分の1を実現した。

「実はわが社がアルミタンクの量産化にチャレンジしたのはこれが初めてではない。10年ほど前にも同じように取り組んだが、残念ながら実現することはできなかった」と三井氏。「だから今回のプロジェクトは、前回挫折した時の資料をみんなで見直し、『なぜ

できなかったのか?』を検証するところからスタートした」とのこと。同社は、古くからアルミ部品に強い執着を示してきた会社だ。1970年代にはアルミ製のファンダーを備えた量産モデルを発売し、80年代には

「製造の背景があるからアルミを使う」という発想が活発になるのか、高い機能要求がくるから製造技術が発展するのか、いずれにしても開発と製造の相互刺激が当社のアルミ成形技術を高めてきたのは間違いない」と三井氏。

「YZF-R1」（2015年）の製造から始まったアルミ製燃料タンクの量産化。その技術は2017年にリリースした「YZF-R6」にも展開され、さらなる発展を遂げている。

一度は断念したアルミ製燃料タンクの量産化。それをモノにした開発者たちは、「職人技で、製造技術を支えた現場の皆さんの功績」と声を揃えた。「この表彰はぜひ現場に」というアイデアに異論はなく、12月中旬、写真のように三井氏によって届けられた。

（※）素形材産業技術賞=一般財団法人素形材センターが主催

度運転に適用できず、装置の生産性向上に届けることができなかった。

新商品「リンスピードジャッキ」は、従来のジャッキでは対応できなかった高速領域での運転と小形サイズを実現。新開発構造により、従来のジャッキに比べて圧倒的に低床化を実現することで縦方向の省スペース化を図り、顧客の装置のコンパクト化に



量産化に成功したアルミ燃料タンク

できなかったのか?』を検証するところからスタートした」とのこと。同社は、古くからアルミ部品に強い執着を示してきた会社だ。1970年代にはアルミ製のファンダーを備えた量産モデルを発売し、80年代には

「製造の背景があるからアルミを使う」という発想が活発になるのか、高い機能要求がくるから製造技術が発展するのか、いずれにしても開発と製造の相互刺激が当社のアルミ成形技術を高めてきたのは間違いない」と三井氏。

「YZF-R1」（2015年）の製造から始まったアルミ製燃料タンクの量産化。その技術は2017年にリリースした「YZF-R6」にも展開され、さらなる発展を遂げている。

一度は断念したアルミ製燃料タンクの量産化。それをモノにした開発者たちは、「職人技で、製造技術を支えた現場の皆さんの功績」と声を揃えた。「この表彰はぜひ現場に」というアイデアに異論はなく、12月中旬、写真のように三井氏によって届けられた。

（※）素形材産業技術賞=一般財団法人素形材センターが主催

富士ゼロックス

富士フィルムグループの富士ゼロックス㈱（本社：東京都港区、社長：栗原博氏）と㈱セブンイレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋一樹氏）は、全国のセブンイレブン店舗（2017年12月末現在=1万9979店舗、注1）に設置している「マルチコピー機」で、ユーザーがインターネット経由で登録したファイルをプリントできる「ネットプリント」サービスに、ユーザー情報の登録なしで利用できる「ネットプリントサービス lite」を新設し、1月10日（水）15時からサ

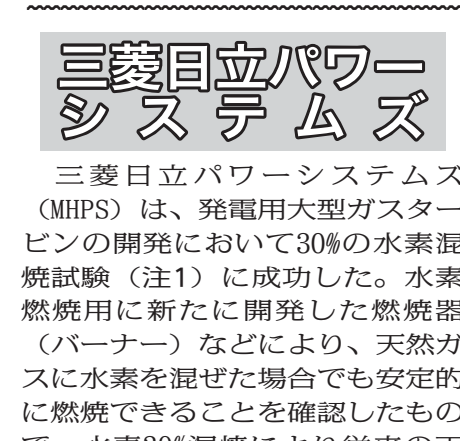
急な利用ニーズにも対応

「サービス概要」<従来>Webサイトやスマートフォン向けアプリから「ネットプリント」を利用するには、氏名やメールアドレスなどのユーザー情報を事前に登録する必要があった。<今回>新たにサービスを開始する「ネットプリントサービス lite」は、ユーザー情報の事前登録作業なしでのプリント予約を可能にした。これにより突発的・一時的な利用のニーズにも応えやすくなった。

【利用の流れ】専用Webサイトからアクセスし、普通紙、フォト用紙、はがきの中から用紙種類を選択、ファイルをインターネット経由で登録すると、プリント予約番号が発行される。ファイル預かり期間はファイル登録日の翌日までで、その間にセブンイレブン店頭マルチコ

ピー機でプリント予約番号を入力すれば、必要なファイルがプリントできる。<Step1>専用Webサイトから「今すぐファイル登録」に進み、利用規約に合意<Step2>出力したい用紙を選択し、ファイル登録<Step3>発行されたプリント予約番号を控える。任意のメールアドレスへの通知も可能<Step4>セブンイレブン店頭マルチコピー機で、控えたプリント予約番号を入力<Step5>利用料金を支払い、プリント

また自宅にプリント環境がないユーザーに対し、プリントが可能な手段を紹介したいという企業や自治体からの要望の増加を受け、運営されているWebサイトから「ネットプリント」へリンクする際の手順を紹介するサイトを、新たに開設した。



三菱日立パワーシステムズ

三菱日立パワーシステムズ（MHPS）は、発電用大型ガスタービン

の燃焼方式はDLN燃焼方式で豊富な実績のある予混合燃焼方式を採用している。燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気



燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気



セブンイレブンのマルチコピー機

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気

燃焼器の燃料ノズルにより、空気を循環させ、より均一な予混合気